



ぴったり技術で明日をつくる

2018年の創業100周年を機に、
企業メッセージを新しく策定しました。
ニチバングループの強みである粘着技術を活かして、
将来にわたって快適で健康な生活に貢献していくという
ニチバングループの企業姿勢を表現しています。



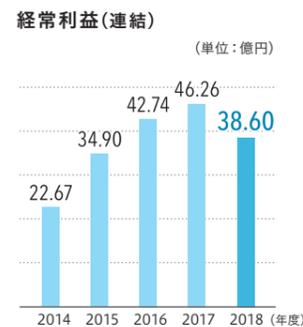
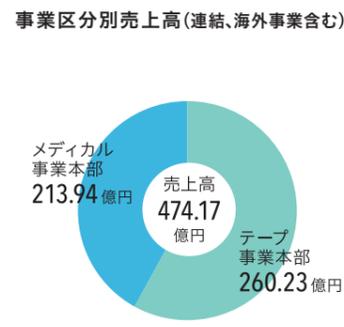
CONTENTS

会社概要・事業ハイライト・編集方針	P1-2
トップメッセージ	P3-6
新中期経営計画	
【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】	P7
ニチバンのESG	P8
〈Social〉	
お客さまとともに	P9-10
社員とともに	P11-12
社会とともに	P13-14
〈Environment〉	
環境負荷低減の取り組み	P15-17
〈Governance〉	
コーポレート・ガバナンス	P18

編集方針:本報告書は、ニチバングループの活動の結果をご報告し、より多くの方々にニチバンの事業活動を知っていただくことを目的に発行しています。
報告対象組織:ニチバン株式会社／ニチバンプリント株式会社／ニチバンテクノ株式会社／ニチバンメディカル株式会社
報告対象期間:2018年度(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の活動を中心に、それ以前からの取り組みや、直近の報告も含んでいます。
報告対象分野:環境・社会・経済的側面
参考にしたガイドライン:環境省『環境報告ガイドライン(2018年版)』
発行:2019年9月

COMPANY PROFILE

商号	ニチバン株式会社	従業員数	1,258名(連結)
創業	1918(大正7)年1月	株主数	4,965名
本社所在地	〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号 TEL.03-5978-5601	グループ会社	ニチバンプリント株式会社 ニチバンテクノ株式会社 ニチバンメディカル株式会社 NICHIBAN(THAILAND) CO., LTD.
代表者	代表取締役社長 高津 敏明	関連会社	UNION THAI-NICHIBAN CO., LTD. 大東化工株式会社 株式会社飯洋化工
資本金	54.51億円		
売上高	474.17億円(連結)		



2018年度事業ハイライト

2018年

4月	企業活動 障がい者支援活動として「パラリンアート」「ブラインドサッカー」へのサポート開始
5月	企業活動 第1回 島根県江の川「森のしずく」保全活動実施 IR活動 2018年3月期決算説明会開催
6月	新製品 セロテープ®を使った工作キット「セロパンダ™」発売
7月	新製品 キッチンで便利に使える「ディアキチ™ワザアリ™マーカー」発売
9月	新製品 ロールオンタイプの鎮痛消炎剤「ロイヒ™クリーム フェルビ」発売 製品情報 セロテープ®発売70周年、製品パッケージをリニューアル
	新製品 「セロテープ®小巻カッターつき<まっすぐ切れるタイプ>」発売
10月	新製品 動物シリーズ第4弾「セロテープ®ねこカッター／パンダカッター」発売 企業活動 「まんが社会見学シリーズ『大研究! 思いをつなぐ!セロハンテープ』を日本・インドネシアの小学校などに寄贈

11月

新製品	無臭・温感・フェルビナク配合の鎮痛消炎テープ剤「ロイヒ膏™フェルビコンパクト」発売
新製品	縫合創用ドレッシング「サージフィット™(SURGIFIT™)」発売
IR活動	2019年3月期第2四半期決算説明会開催

2019年

2月	新製品 「ディアキチ™ワザアリ™テープ」シリーズから<柄付きタイプ>と<細幅タイプ>発売
3月	新製品 シリーズで最も強い結束力を実現「とめたつ™テープ強結束用」発売 新製品 縫合後の傷あとをケアする専用テープ「アトファイン™傷あとケアテープ」発売

2030年ビジョン実現に向け、新理念のもとで 「進化・深化」と「変革」を追求します。



代表取締役社長
高津敏明

2018年度を振り返って

ニチバングループは2011年度より中長期経営計画【NB100】を推進し、2018年度に最終年度を迎えました。「企業品質向上」「基盤効率化・安定化」「成長追求」を戦略フレームとして着実に成果をあげつつ、同時に今後取り組むべき課題を明確にすることができた8年となりました。

「企業品質向上」では、確かな品質の製品を世に送り出していくための管理体制や、人材育成強化を図りました。品質面では、お客さまの満足を追求するべく各組織が品質への意識を高め、重大なクレームを発生させない品質管理体制を構築することができました。また人材面では、グローバルに活躍できる人材の育成や専門スキルの強化とともに、ビジョンや経営方針に基づいた確固たる組織運営を実現するべく、ミドル層のマネジメント力の向上に努めました。

「基盤効率化・安定化」については、グループとしての最適生産・生産体制強化に向けて、拠点再編を実施しました。2018年1月には、医薬品専門のメディカル安城工場を建設、稼働を開始しています。

ブランド力強化やシェア向上に向けた「成長追求」の面では、インバウンドを背景にロイヒTMブランドが成長し、またケアリーヴTMブランドも順調に売上を伸ばすなど、大きな成果をあげることができました。一方で、創業当時から当社を牽引してきたテープ事業については新製品の育成が途上段階にあり、次期に取り組む課題としています。

【NB100】の達成状況を測る指標については、メディカル事業比率が目標の43%^{*}を上回る45%となり、当社グループを牽引する事業として着実に成長しています。海外売上比率は目標の7%^{*}を達成しましたが、海外で事業を展開する上ではさらなるスピード感が必要です。今後は、2017年8月から設置しているタイの販売会社に加え、2019年1月に開設したデュッセ

ルドルフ(ドイツ)の駐在員事務所を中心に、現地密着型のスピーディーな事業を推し進めていく計画です。テープ事業における新製品育成やグローバル展開の遅れを背景に、2018年度の連結売上高は目標に対して95%の474.17億円となりました。

※ 2017年11月8日付で連結経営目標数値の見直しを行っています。

中長期ビジョンと 新中期経営計画

当社グループは2018年に創業100周年を迎え、次の100年に向けて歩み始めています。その最初の一歩として、「快適な生活を支える価値を創出し続け、グローバルに貢献する企業になる」ことを掲げた中長期ビジョン『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』を策定しました。現在、国内ではさまざまな場面で当社の製品をお使いいただいておりますが、今後はよりグローバルに、世界中の人々の不便・不満・不安を解消し、生活に貢献する製品をお届けしていきたいという意志を込めています。そのために、2つの目標を据えました。イノベーションによって新たな製品や価値を

提供していくこと、そしてスピーディーなグローバル展開を可能にする体制・仕組みを構築することです。2030年には、新製品比率30%、海外比率30%の実現を目指します。

この中長期ビジョンのもと、2019年度からは5か年の新中期経営計画【ISHIZUE 2023～SHINKA・変革～】をスタートさせています。キーワードは「進化・深化」、そして「変革」です。ダーウィンの「生き残れるのは、変化に対応できる者」という言葉にもあるように、明日がどうなるかわからない時代において、当社グループも従来の常識にとらわれず変革することが必要な段階にきています。これまで培ってきた100年の歴史は大切に深化させつつも、進化を恐れず、当社グループの真価を発揮していく。そのような5か年にしていきたいと考えています。

新中期経営計画では、中長期ビジョンの2つの主要戦略である「イノベーション創出」「グローバル貢献」に加え、「事業推進体制の見直し」「AI・IoTの活用」「人材育成」という5つの重点テーマを設けました。これまで当社グループは、テープ事業とメディカル事業を柱に据えてきました。しかし実際には、テープ事業を代表する「セロテープ[®]」も、メディカル事業を代表する「ケアリーヴTM」もドラッグストア等で買うことが



でき、お使いいただくのも同じ生活者であるお客さまです。そこで事業の区分けを改めてお客さま基軸で再編成し、収益改革を図っていきます。また、この先5年で特に大きく変わると言われているAIやIoTについては、生産現場や販売システムの業務プロセスにしっかりとリンクさせ、効果的に活用していきます。さらに、すべての計画を遂行するのは「人」という観点から、【NB100】の推進中に見えてきた課題もふまえ、改めて人財育成に注力していきます。

社会課題への対応

昨今、世界規模で社会課題への対応が求められており、国内においても少子高齢化や労働人口の減少、単身世帯の増加など、さまざまな課題が挙げられています。これらの課題は企業も解決に寄与すべきであると同時に、事業活動においてはリスクにも機会にもなり得ると認識しています。高齢化を例にとると、シニア層のお客さまが感じている不安や不便を解消する製品開発は、事業成長の機会となります。高齢化先進国の日本においてシニア向け製品を成長させることができれば、将来各国が高齢化に直面した際に、グローバル展開を加速することができるはずです。また工業

用分野では、コンクリートのひび割れ修繕に使用するテープをすでに発売していますが、今後建物や高速道路の老朽化という社会課題が一層深刻化する中で、これらの技術を応用した製品開発も考えられます。研究機関や他企業と連携するオープンイノベーションも含め、この5年でさまざまな事業の種を発芽させ、将来の発展につなげていきます。

加えて、メーカーとしていかに地球環境に配慮した製品をつくるかについては、その製造方法も含めてしっかりと向き合っていかなければなりません。対応が急務とされる脱プラスチックや、当社グループの事業と密接に関連する脱溶剤についても、さまざまな観点から取り組みを進めています。

一方、SDGs(持続可能な開発目標)への対応については、新中期経営計画策定時に深掘りしきれなかったと認識しています。現在、当社グループとしてどの目標に寄与できるかを精査しており、2019年度中には明確なコミットメントとして発信する計画です。

新たな理念のもとで

創業101年目を迎えるにあたり、グループ統一の理念を策定しました。当社グループの理念体系は、創業

の精神のもと最上位に基本理念があり、次に企業姿勢、行動指針と続きます。当然、中長期ビジョンや新中期経営計画も理念の実現に向けたものであり、全社員がこの理念を理解し、ベクトルをあわせていくことが喫緊の課題です。そのためには、理念を「自分ごと化」することが欠かせません。日々の判断や業務について、行動指針と照らしあわせながら計画を遂行し、社員一人ひとりが理念と自分の仕事を直接的に結びつけることで、当社グループが目指す「あるべき姿」に一歩ずつ近づいていけるものと確信しています。

ニチバングループの倫理

基本方針

私たちは、「企業は社会の公器」であることを認識し、行動指針に基づく活動を通じて、社会的責任を果たしてまいります。

行動指針

- 1 法令等の遵守
- 2 有用・安全・安心な製品の提供
- 3 反社会的行為への断固たる対応
- 4 情報管理と開示の徹底
- 5 当社倫理の徹底

ニチバングループの理念

創業の精神

和親協力・進取向上

基本理念

私たちは絆を大切に
ニチバングループにかかわる
すべての人々の幸せを実現します

企業姿勢

粘着の分野を原点として
新たな価値を創造する技術で
快適な生活に貢献し続けます

行動指針

- | | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--|--|
| 社会
誠意をもって誰にでも
誇れる仕事をしよう | お客様
お客様にとっての
「良いもの」を届けよう | チャレンジ
失敗を恐れず
まずやってみよう | スピード
スピーディーに行動し
時代を先取りしよう | チームワーク
組織を超えて協力し
最後までやり遂げよう |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--|--|



新中期経営計画【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】

創業100周年の次のステップの成長を目指し、確固たる企業品質のもと、「ありたい姿」の実現に向けた中長期ビジョン『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』を策定しました。2019年度からの5年間は、この中長期ビジョン実現の礎となる新中期経営計画【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】を推進します。

2030
2023
2019

『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』

快適な生活を支える価値を創出し続け、グローバルに貢献する企業へ！

2030年目標 イノベーションとグローバル貢献を軸に、新製品比率30%、海外比率30%

【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】

『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』実現の礎となる「進化・深化」と「変革」の5ヵ年計画。

取り組み重点テーマ



2023年度財務目標

営業利益率	10%	売上高	600億円
ROE	10%	海外売上高	70億円(10%以上)
		新製品売上高	60億円(10%以上)

ニチバンのESG



ESG経営の推進に向けて

「私たちは絆を大切にニチバングループにかかわるすべての人々の幸せを実現します」という基本理念を当社グループは掲げています。この理念を紐解くと、まずは社員が幸せを感じられる環境をつくり、その幸せをすべてのステークホルダーにつないでいく、という考え方であります。昨今、ESGを重視した経営やSDGsへの取り組みが求められており、当社もワーキンググループの立ち上げ等を検討していますが、脈々と受け継がれてきた理念が考え方の基盤になると思っています。

一方で、気候変動をはじめとする環境課題や社会課題への対応は、待ったなしの状態にあると認識しています。課題解決に向けてはさまざまな困難があると思いますが、それをコストとして捉えるのではなくビジネスチャンスとすることで、当社グループの成長につなげていきたいと考えています。

具体的には、環境面ではISO14001を中心とした活動を堅実に遂行するとともに、「グリーン調達ガイドライン」の遵守を徹底していきます。また、溶剤使用の問題はテープ製品を扱う当社グループが担うべき課題と捉え、技術革新に挑戦しながら脱溶剤を目指します。

社会面では、メーカーとして「お客様にとっての『良いもの』を届ける」ことを基本に、女性活躍やワークライフバランスなど、社員が長く働ける職場環境を整備していきます。さらに「巻心ECOプロジェクト」やスポーツメディカル分野へのサポートなど、事業活動と密接に関連した社会貢献を推進します。

ガバナンスについては、遵守事項等に対応しながら、500億円企業として身の丈にあった内部統制を行う必要があると考えています。「世の中の風潮がこうだから」と流されるのではなく、「なぜこのようなことを行うのか」をきちんと理解した上で、健全なガバナンス体制を構築していきます。

専務取締役
推進ユニット担当(兼)
CSR担当(兼)広報宣伝室長
酒井 寛規



Social お客さまとともに

製品を通じてお客さまとの信頼関係を築きます。

メディカル事業

鎮痛消炎クリーム剤「ロイヒTMクリーム フェルビ」

「ロイヒTMクリーム フェルビ」(第2類医薬品)は、クリーム剤の鎮痛消炎剤としては業界初となる、ロールオンタイプを採用しました。本製品は痛みのもとに直接効く「フェルビナク」を3%配合した温感タイプで、手を汚さずに患部に直接塗ることができます。肩こりの痛みや腰痛だけでなく、関節痛・筋肉痛など、ひざや足裏などの広い範囲に液だれせずに塗ることができます。



液だれせず広範囲に塗ることが可能

Voice

開発担当者の声

「ロイヒTM」シリーズは「ロイヒつぼ膏TM」等の貼り薬のみのラインアップでしたが、お客さまの幅広いニーズにお応えするために、鎮痛消炎クリーム剤を企画しました。ロールオンタイプなのでゲル剤・クリーム剤の

不満点として多く挙げられる「手が汚れる」ことがなく、かつ先端に3つのステンレスボールがついているので、マッサージをするように塗ると有効成分が直接患部に浸透し、心地よい刺激を感じられます。

縫合創用ドレッシング「サージフィットTM(SURGIFITTM)」

縫合創用ドレッシングに求められる吸水性と創部の視認性を実現した「サージフィットTM(SURGIFITTM)」を発売しました。

従来品に比べ、水分の吸収スピードが約4倍となる高吸水性繊維をパッドに採用し、創部に血液や滲出液が溜まりにくく、創部の観察ができるよう開孔部を設けました。また、テープ部に高透湿・低刺激のウレタンジェル粘着剤を使用したことにより、ムレを防ぎ、はがす時の角質へのダメージを低減しました。



吸収量はガーゼ10枚分以上

貼ったまま創部や周辺皮膚を観察できる

テープ事業

「セロテープ[®]小巻カッターつきくまっすぐ切れるタイプ」

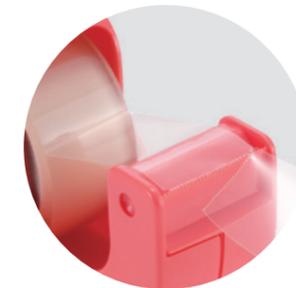
定番製品「セロテープ[®]小巻カッターつき」から、新たなカッター刃を採用した「セロテープ[®]小巻カッターつきくまっすぐ切れるタイプ」を発売しました。

新カッター刃では、刃先のギザギザ部分をより細か

く密にするなど、刃の形状や角度を工夫しています。これにより、ケガをしにくい安心設計のプラスチック製小巻カッターでも、テープをまっすぐきれいに切ることができるようになりました。また切り口がまっすぐなためテープをはがす時に裂けにくく、封緘やラッピング作業もきれいに仕上げることができます。使用可能なテープ幅は12mm、15mm、18mmで、用途にあわせてお選びいただけます。



カラーはブルー、イエロー、レッドの3色をラインアップ



ギザギザにならないまっすぐな切り口

Voice

開発担当者の声

「セロテープ[®]小巻カッターつきくまっすぐ切れるタイプ」は、金属製の刃でしか実現できなかった切り口のきれいさを、小さなお子さんでもケガをしにくい樹脂製カッターで実現しています。当初は、成型時に樹脂が刃の細かいところ

まで入らず苦労しましたが、工場での工夫を重ねたことで今では安定して量産することができています。今後もこのようなチャレンジを続け、お客さまにとってよい製品をお届けしていきたいと考えています。

「ディアキチTMワザアリTMテープ」シリーズから2つの新タイプ

ワザアリTMテープは切れ味が軽く、手でまっすぐ切れるので、はさみは必要ありません。冷蔵庫(4℃)や冷凍庫(-18℃)内でも使用でき、貼ってはがせる糊残りの少ないテープです。

シリーズ初の<柄付きタイプ>は、日付や内容物など、書いた文字が読みやすいようベースカラーにホワイトを採用しました。柄は約5cmごとに切り替わるので、長さをそろえてカットする際の目安にもなります。

また、通常タイプより10mm細い15mm幅のテープを<細幅タイプ>としてラインアップしました。細幅なので、背の低い保存容器や丸型容器の曲面にもしっかり貼ることができるほか、フリーザーバッグなどの側面に貼りつけても見やすいので、冷蔵庫や冷凍庫内で立てて収納してもラベルを上から確認することができます。



ディアキチTMワザアリTMテープ 柄付きタイプ



ディアキチTMワザアリTMテープ 細幅タイプ

Social 社員とともに

社員がいきいきと働ける職場づくりを進めていきます。

ダイバーシティの推進

女性活躍推進

ニチバンでは、働き続ける施策は整備されているため「勤続年数に男女の差はない」が、「管理職比率に男女の差がある」という課題解決に向けて、第一期行動計画(2016～2018年度)を策定し、取り組みを進めてきました。2016年度はキャリア形成の機会が十分でなかった女性リーダー層への「キャリア研修」、2017年度は全管理職向けの「多様性マネジメント研修」と役員向けの「働き方改革講話」を実施しました。また女性リーダー層へは継続して2017年度に「目標設定研修」を行い、2018年度にはその研修を活用したMBO目標設定を実践しました。

2019年度からは第二期行動計画を策定し、引き続き、男女にかかわらず誰もが活躍できる職場を目指していきます。

社員の状況		単位	2016年度	2017年度	2018年度
平均年齢(在籍人員)			40.1	40.2	40.6
	男性	歳	40.4	40.5	40.8
	女性		39.2	39.2	40.0
平均勤続年数			16.7	16.9	17.0
	男性	年	17.6	17.9	18.0
	女性		14.0	13.9	14.2
離職率		%	1.0	1.1	1.4
育児休職			14	15	19
	男性	名	1	1	4
	女性		13	14	15
	復帰率	%	100	100	100
介護休暇・休職			6	4	4
	男性	名	4	3	3
	女性		2	1	1
有給休暇取得率		%	42.6	43.9	46.5

障がい者雇用

ニチバンでは障がい者の積極的な雇用に取り組んでおり、複数の事業所で多くの方が働いています。本社では各職場で障がいを考慮した担当業務を持ち、個々の能力を活かした活躍をしています。

2018年度は、テープ安城工場に知的障がいのある方が製品包装などの業務を担当する職場を新設しました。障がいの重さにかかわらず協力して業務に取り組み、仕事への誇りを持つとともに、「自律」「成長」を実現する職場を目指し運営を行っています。また毎年、特別支援学校からのインターンシップを受け入れ、継続した採用につなげています(2018年6月時点の障がい者雇用率:2.24%)。

今後も多様な人財が活躍する企業を目指し、障がい者雇用を総合的に推進していきます。



ワークライフバランスの推進

ニチバンでは、社員の仕事と生活の調和(ワークライフバランス)推進の一環として、法定の「年次有給休暇」に加え、さまざまな休暇・休職制度を整備しています。私傷病のための「傷病休暇」、子育てのための「育児休職」・「育児短時間勤務」制度、家族の介護を目的とした「介護休職」・「介護休暇」のほか、勤続10年ごとに取得できる「リフレッシュ休暇」、社会貢献活動のための「ボランティア休暇」などを設けています。

Voice

育児休職取得者の声

育児休職中に自分を見つめ直すことで、自分にとって何が大切かをしっかり考えるよい機会になり、以前よりも世の中に対する視野が広がったと思います。復帰後も強い目的意識を持って課題に取り組めるようになったと感じます。毎日充実しています。



雇用環境の整備

ニチバンでは、社員が仕事と家庭生活を両立し、その能力を十分に発揮できるよう雇用環境の整備を行い、社員と会社双方の成長につながるよう支援しています。2018年12月には、東京労働局長より基準適合一般事業主としての認定を受け、3回目の「次世代認定マーク」(愛称:くるみん)を取得しました。引き続き、第5期行動計画(2018～2020年度)を策定し、推進していきます。

第5期行動計画目標と対策(期間:2018年4月1日～2021年3月31日)

目標	対策
育児等を行う社員の仕事と家庭生活の両立を支援するための雇用環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な働き方(病氣と仕事の両立、育児・介護と仕事の両立等)ができる環境の整備 男性社員の育児休職取得促進のための周知啓蒙 女性活躍支援措置の実施
所定外労働時間削減、年休取得促進への施策推進	<ul style="list-style-type: none"> 勤怠データを活用した時間外労働の削減 年休取得率向上に向けた取得促進施策の立案と推進
若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップを定期実施

人財育成

ニチバンでは、専門性と創造性に富み、新たな領域にチャレンジする意欲にあふれた人財の育成を目指す教育研修を実施しています。入社後は階層別教育を主体にニチバンで働く社会人としての基礎を身につけ、その後は専門教育を中心に一人ひとりの役割に応じた専門的力を養います。

また海外事業の拡大実現に向け、グローバル人財の育成を推進しています。通信教育や公募研修を実施し、社員が切磋琢磨しています。



階層別研修の様子

Social 社会とともに

さまざまな活動を通じて、
ステークホルダーの皆さまとの絆を深めます。

スポーツ支援の取り組み

ニチバンは、公益財団法人日本スポーツ協会のオフィシャルパートナーとして、傷害予防の普及やトレーナーの育成を支援しています。日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの検定試験でテーピングを提供しているほか、スポーツ指導者向けに救急絆創膏の使い方などの啓蒙活動を行いました。今後も、次世代のアスレティックトレーナーの育成などを応援していきます。



スポーツリーダー兼スポーツ少年団認定員養成講習会



日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会

みんなのセロテープ®️ワークショップ

発達に課題を抱える児童に芸術の楽しさや作品づくりの面白さを知ってもらうことを目的に、セロテープ®️工作のワークショップを開催しています。2018年度は、セロテープ®️工作監修者であり、世界で唯一のセロテープアート®️作家である瀬畑亮氏の指導のもと、支援学級教室に通う小学2年生～中学3年生の15名が参加し、動物や花などの立体物づくりに挑戦しました。



ワークショップに参加した子ども達の作品



工作中的の様子

ニチバン巻心ECOプロジェクト

ニチバン製品の多くは粘着テープで、形状を保つために巻心に巻きつけられています。このため、テープを使い切ると必ず巻心が残ります。残った巻心はゴミとして捨てられていました。これらの巻心をゴミにしないために、ニチバンでは各種使用済み粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用する「巻心ECOプロジェクト」に2010年から取り組んでいます。回収した巻心はダンボールにリサイクルして再利用するとともに、リサイクルによる利益金および当社からの支援金で、環境保全活動を実施しています。



回収した巻心の一部

第9回結果概要

期 間	2018年9月3日～12月27日
回収対象	完全に使い切った各種粘着テープの紙製の巻心(メーカー問わず)
回収した巻心数	393,369個
参加数	820団体(学校、企業、医療施設など)、個人217名
寄 付	リサイクルによる利益金および当社からの支援金で下記活動を支援・実施 <ul style="list-style-type: none"> ● フィリピンでのマングローブ植樹・メンテナンス活動 ● 江の川「森のしずく」保全活動

参加状況&回収結果報告

回数	団体参加数 (団体)	個人参加数 (名)	巻心回収 総数(個)	巻心総重量 (kg)
第1回	580	1,031	74,522	930
第2回	958	1,183	195,139	3,264
第3回	1,172	589	452,480	5,122
第4回	778	829	434,079	4,611
第5回	710	997	493,319	5,978
第6回	794	272	484,534	5,582
第7回	722	245	267,231	5,033
第8回	818	281	500,958	6,339
第9回	820	217	393,369	5,332
合計			3,295,631	42,191

鳥根県江の川「森のしずく」保全活動

日本製紙株式会社の江津工場(鳥根県江津市)で「セロテープ®️」の素材であるセロハンの主原料となる溶解パルプを生産していることから、近郊の江の川流域(鳥根県邑智郡)に広がる同社の社有林の一部において、森の保全活動を実施しています。これは植樹や間伐など適切な手入れを行うことで、空気や水をきれいにし、土砂災害を防ぐなど、森の本来の力を高めるための取り組みです。

国内植樹第2回となる2019年は、5月21日に鳥根県邑智郡川本町にある日本製紙株式会社 銅ヶ丸社

有林の一部にて、大阪市立瓜破西小学校の児童・先生を招待し、0.1haに杉200本を植樹しました。



植樹活動の様子

フィリピンでのマングローブの植樹・メンテナンス活動

環境NGO『イカオ・アコ』が1997年から実施している活動で、これまでネグロス島・ボホール島各地に約130万本の植樹を行っています。ニチバンは「巻心ECOプロジェクト」開始時からこの活動を支援しており、これまでに17万本以上の植樹に協力しています。

環境NGO「イカオ・アコ」(代表:後藤 順久)

1997年設立。同年からフィリピンでマングローブの植樹事業を開始。継続的な植樹と保全活動に加え、現地の教育支援活動、コミュニティ・トレードも行っている。

<http://ikawako.com>

Environment 環境負荷低減の取り組み

省エネルギーへの取り組みをはじめ、
環境面での配慮に努めています。

ニチバングループ環境方針

ニチバンは人と物および地球環境にやさしい技術を通して、
製品の全ライフサイクル[開発・製造・流通・使用・廃棄]にわたり
安全と健康と環境面の配慮に努める

ニチバングループでは、日々の業務において生産性の向上に取り組むことが環境保全につながると考え、環境方針のもと、ISO14001を基本として環境マネジメントに取り組み、継続的な改善を目指しています。

省エネルギーの取り組み

ニチバングループでは、環境負荷低減のためのCO₂排出量や消費電力の削減に向け、生産性向上・生産時の条件見直しによる効率的なエネルギー使用や、徹底した空調管理を進めています。各工場での製造工程の改善とともに、テープ安城工場では塗工機の乾燥条件を見直し、余分な熱エネルギーの使用がないかを検証するなどしてエネルギー使用量の削減につなげています。

省資源の取り組み

ニチバングループでは限りある資源を有効に利用していくため、包装材料の削減に努めています。2018年度はクラフトテープの包装フィルムの薄膜化を行い、包装材料を減量しました。今後もプラスチックを取り巻く国内外の状況をふまえ、包装材料の削減を含めた省資源の取り組みを進めていきます。

廃棄物削減の取り組み

製造工程の見直しや歩留の改善などにより、廃棄物の発生抑制に努めています。あわせて廃棄物処理法に基づき、廃棄物の分別回収、廃棄物処理委託業者の認定管理、最終処分状況の定期的な確認を実施しています。

サステナブルな社会の実現に向けて

製品をつくり、お客さまにお届けするというメーカーとしてのニチバングループの事業活動は、地球の資源を使うことで成り立っています。カーボンニュートラルな製品である「セロテープ®」も、主原料は木材チップや天然樹脂などの天然資源ですし、その他の製品では枯渇原料である石油化学製品を使用しているものもあります。またすべての製品の製造過程では、多くのエネルギーを必要とします。

これらの事実を真摯に受け止めながらサステナブルな社会の実現に貢献するべく、当社グループではさまざまな環境対応を進めています。2018年度は、有機溶剤を使用しない製法を検討するプロジェクトをスタートさせました。溶剤への課題については、これまでも糊を熱で溶かす「無溶剤ホットメルト塗工方式」や水を使用する「エマルジョン粘着剤」の開発を進めてきましたが、さらなる技術開発により、全社をあげて「脱溶剤」を推進していきます。

また、2018年1月に稼働を開始したメディカル安城工場では新たな設備を導入し、生産性向上とともに、従来以上の省エネ・省資源を可能にしています。

その他、当社グループにかかわる環境課題としては、化学物質管理や海洋プラスチックごみの問題が挙げられます。化学物質については、原料の調達先であるメーカーと情報を共有しながら国内および海外の動向を注視し、製品の設計段階から法規制の対象となる化学物質が含まれていないかを確認しています。

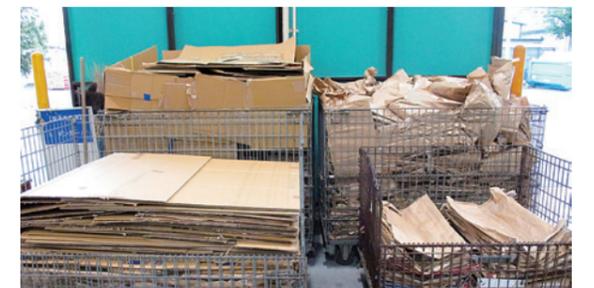
プラスチックごみについては、当社の「セロテープ®」が寄与できることが大きいと考えています。「セロテープ®」はポリプロピレンを基材とするOPPテープとは異なり、プラスチックを使用していません。この製品特性をこれまで以上に広く訴求することで、“脱プラスチック社会”の実現に貢献していきます。

上席執行役員
品質保証本部長
山田 隆文



有価物の管理

埼玉工場では環境目標として廃棄物削減を掲げ、その中でゴミとして廃棄してしまう“資源”を有価物にする取り組みを継続しています。これまでは、紙および工程内で廃棄されるテープの基材を中心に有価物への転換を行ってきました。さらに2018年度は、基材を包装している包装紙についても廃棄物から有価物へと転換し、有価物の種類を増やして廃棄物の削減に取り組んでいます。



テント倉庫内に設けた有価物置き場

グリーン調達の推進

環境問題に対する関心の高まりから国内外で法規制の見直しや整備が進められており、環境有害物質に関する規制も厳しくなっています。ニチバングループでは、お客さまから寄せられるさまざまな法規制に関する調査依頼に対応するため、原材料メーカーに対し、ニチバングリーン調達基準に基づいた調査を実施しています。調査では原材料中に法規制等で禁

止されている有害な化学物質の使用・含有がないかを確認するとともに、化学物質の管理状況の確認を依頼しています。

さらに2019年度は、ニチバングループの「グリーン調達ガイドライン」を制定し、サプライヤーに向けてもその必要性和協力を発信していきます。

ニチバン株式会社

〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号

TEL. 03-5978-5601 FAX. 03-5978-5620

<https://www.nichiban.co.jp/>

ご意見・ご質問は、下記までお願いいたします。

広報宣伝室

TEL. 03-6386-7190 FAX. 03-6386-7191

●®は登録商標、TMは商標です。

●本報告書は、「FSC®森林認証紙」、「ベジタブルオイルインキ」を使用し、
VOC削減効果の高い「水なし印刷」で印刷しました。

